



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

GOVERNOR:
SHIGERU SHIBATA

CREATE
LASTING
IMPACT



写真提供：仙台南 RC 後興と友情の碑とともに一荒浜での清掃活動

CONTENTS

ガバナーメッセージ.....	2	「夏とこども＋ファミリー写真展」にて	
特別月間によせて		スーパーボールすくいを開催！.....	12
米山月間によせて.....	4	2026-2027年度行事予定表.....	12
地域社会の経済発展月間によせて.....	6	新入会員紹介.....	13
2026-2027年度ガバナー公式訪問 報告.....	7	退会会員報告.....	13
地区ロータリー財団セミナー・		寄付報告.....	13
補助金管理セミナー 開催報告	11	編集後記.....	14
ロータリー財団フォーラムに出席して.....	11		

2026
月信
Vol.04

10
OCTOBER

GOVERNOR'S MESSAGE ガバナーメッセージ

航海の先に見えてきたもの

— 33 クラブを訪ねて、人を育て、未来へつなぐ —

2026-2027年度 ガバナー 柴田 茂

秋の気配が少しずつ深まり、7月1日に出航した「第2520地区丸」も4か月目の航海を迎えました。会員の皆様には、日頃より地区活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

7月7日から始まったガバナー公式訪問は、8月末までに地区72クラブのうち33クラブを訪問いたしました。訪問を重ねる中で、改めて強く感じていることがあります。それは、クラブの規模も、地域も、歴史も異なりますが、それぞれの地域に根差した奉仕があり、その根底には「誰かのために何かをしたい」というロータリアン共通の心が流れていることです。



毎年9月14日から16日に行われる盛岡秋まつりの神輿渡御。(今年は雨で中止のため、昨年の写真です)

公式訪問は、私がガバナーとして地区方針をお伝えするだけの場ではありません。むしろ、それぞれのクラブの歴史や活動、会員の皆様の思いを直接伺い、私自身が学ばせていただく大切な時間となっています。子どもたちの健全育成、奨学金、インターアクトへの支援、地域住民と共に行う奉仕、国際交流、そして新しい仲間を迎える工夫など、各クラブにはそのクラブにしかない物語があります。公式訪問を重ねるほど、私は「ロータリーの力は地域にあり、そして人にある」という思いを強くしています。

この航海の中で、特に心に残っているのは、若い皆さんの力です。7月12日に開催されたインターアクト年次大会では、「多様性の『幸せな自分事化』と共創 ～コンフォートゾーンからの脱却」という素晴らしいテーマが掲げられました。高校生の皆さんは、世界や社会の課題を遠い出来事としてではなく、自分自身の幸せと結びつけ、そこから他者や社会への行動を考えていました。

世界では今も争いや分断が続いています。しかし、それを遠い世界の出来事として終わらせず、「自分に何ができるだろう」と考える。その小さな一歩が、やがて平和をつくる大きな力になるのではないのでしょうか。

私たち大人が若者を育てるだけではありません。若い世代の考え方や感性から、私たちロー

GOVERNOR'S MESSAGE ガバナーメッセージ

タリアンが教えられることもたくさんあります。

そして、その若い力を全国へつなぐ大きな機会が、すでに動き始めています。2027年5月8日・9日、仙台育英学園高等学校を会場として「第14回全国インターアクト研究会 仙台会議 2027」が開催されます。大会テーマは「手を取って未来へー Hand in Hand to the Future」です。この大会は、5月8日に突然始まるものではありません。地区内の仲間が手を取り合い、準備を始めたその瞬間から、すでに仙台会議は始まっているのだと思います。

もう一つ、この航海を通して強く感じているのが、「**伝えること**」の大切さです。

8月25日に開催された第一地域公共イメージ向上セミナーでは、奉仕活動を単なる活動報告で終わらせず、その背景にある「人」と「思い」をストーリーとして伝えることの大切さを学びました。

「何をしたか」だけではなく、

「なぜ始めたのか」

「誰のためだったのか」

「そこにどんな思いがあったのか」。

それを伝えることで、ロータリーを知らない方にも、私たちの奉仕を「自分事」として感じていただけるのではないのでしょうか。

私は33クラブへの公式訪問で、すでにたくさんの素晴らしい物語に出会っています。その物語をクラブの中だけにとどめず、地区で共有し、地域へ、日本へ、そして世界へ伝えていく。それもまた、私たちが生み出す「持続可能なインパクト」の一つだと思います。

「第2520地区丸」の航海は、これからも続きます。これから訪問するクラブでは、どのような人と出会い、どのような奉仕の物語に触れることができるのか、私は今から楽しみにしています。一人ひとりの思いが風となり、奉仕という帆を膨らませ、第2520地区丸を未来へと進めてくれます。

人を育てる。

思いを伝える。

そして、未来へつなぐ。

これからも72クラブの皆様と手を取り合い、「共に歩み、未来に飛躍する」航海を続けてまいりましょう。

船長の一言

33の港を訪ねて、私は一つのこと気づきました。

港の景色は一つとして同じではありません。しかし、どの港にも、**誰かを思いやる温かな心**がありました。

素晴らしい奉仕は、行っただけで終わるのではなく、人から人へ、その思いが伝わってこそ未来へ残っていくのだと思います。

私も「第2520地区丸」の船長として、これからも皆様の声に耳を傾け、一つひとつの素晴らしい物語を次の港へ、そして次の世代へ運んでいきたいと思っています。

第2520地区丸は、皆様と共に、未来という希望の港を目指して航海を続けます。

特別月間によせて



米山月間によせて

米山記念奨学会委員会

委員長 小野 寺 勘 治（一関中央RC）

今月は米山月間です。

米山記念奨学会事業への理解と推進にご協力をお願いいたします。

私は、今年度地区米山記念奨学会委員長を仰せつかりました、一関中央ロータリークラブの小野寺勘治です。米山委員会の委員として米山事業に携わって6年目になりますが、初めて委員長となります。不安がありますが、精いっぱい取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくをお願いいたします。

米山記念奨学会事業とは、日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の架け橋になる人材を育てています。

この事業を行うことを目的に設立された「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」は、奨学金を支給して支援する民間団体として最大の奨学団体であり、全国ロータリークラブの寄付を主たる財源とし、ロータリー会員によって運営されているのです。

毎年採用する奨学生は、940人の枠を全国の地区に割り当てますが、第2520地区では、ここ数年平均15名が採用枠となっており、新規採用枠は、10名前後となっています。

米山記念奨学会がこれまでに支援した奨学生数は、累計で世界134の国と地域で25,496人になっており、多くの方が母国で活躍し日本との架け橋になっています。

次に、主な財源となっている寄付金についてお話ししたいと思います。

寄付金には、普通寄付金と特別寄付金の2種類があり、普通寄付金は、日本の全ロータリアンからの定期寄付で、各クラブで決めた一人当たりの金額に会員数をかけた金額を半期に一度ないし、一年分を財団へ寄付します。この普通寄付金は、奨学会運営のため安定収入を見込める財源として、公益法人設立の際の条件として国内全クラブの了承を得ているものです。

また、特別寄付金は、個人・法人・クラブから普通寄付金以外の任意寄付であり金額に決まりはありません。

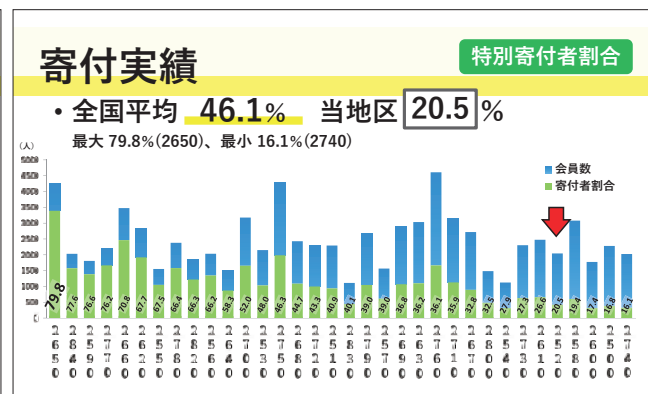
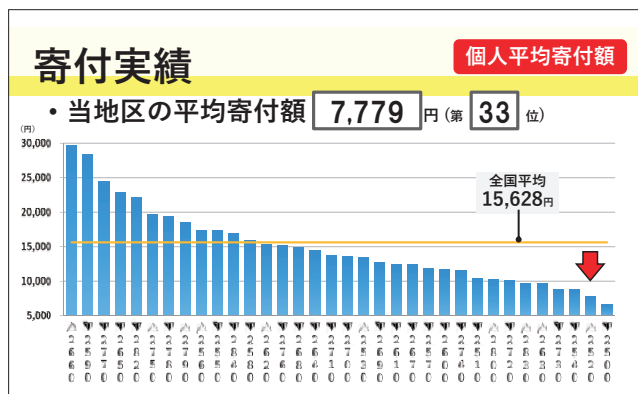
当地区の現状についてですが、2025学年度個人平均寄付額は、7,779円で全国平均15,628円を大きく下回り、全国34地区中33番目となっています。この傾向はこの数年間続いております。

奨学生一人を支援するためには、年間約160万円の事業費がかかるといわれており、当地区では、今年度15名の奨学生を支援しておりますので、年間約2,400万円の事業費がかかってい

ます。これに対して、当地区では年間総寄付金額が1,600万円弱であり、当地区の寄付金では賄いきれませんので他地区からの支援によって成り立っているのです。

寄付金の額が奨学生の受け入れ人数に影響し

ていることを考えれば、もう少し全国平均額に近づくよう、各クラブ普通寄付金の一人当たりの金額の見直しをして、奨学生の受け入れを自前のできるようにご協力をお願いします。



2026学年度 米山奨学生一覧

	氏 名	性別	国 籍	学校名	専 攻	課程	学年	世話クラブ	世話カウンセラー
1	ホシニ、セイド アハマド エドリス	男	アフガニスタン	岩手県立大学	社会システムデザイン	修士	2年	水沢	野田 公之
2	崔 ヒョンス 賢秀	男	韓国	岩手大学	理工学	修士	2年	盛岡東	高橋 耕
3	任 ユエ 子慧	女	中国	岩手大学	理工学	修士	2年	盛岡西北	田中 広江
4	チャン ベト カン リン	女	ベトナム	岩手大学	化学・生命理工	学部	4年	一関中央	佐々木喜榮子
5	薛 ユンチョウ セツ 雲超	男	中国	仙台大学	スポーツ科学専攻	修士	2年	柴田	高橋 孝一
6	賽克娜 ヒジトウ サイクナ 皮爾東	女	中国	東北学院大学	アジア文化史専攻	博士	2年	仙台泉	藤嶋 大輔
7	李 スンミン イ 承玟	男	韓国	東北大学	法	学部	3年	築館	鈴木 守夫
8	閻 シュエン エン 殊璇	女	中国	東北大学	医科学	医修	1年	仙台	三原健太郎
9	スルヨ、サントソ プテロ	男	インドネシア	東北大学	化学	修士	1年	佐沼	千葉 正宏
10	陳 モクケン チン 黙金	女	中国	東北大学	生物生産科学	学部	3年	岩沼	小野 照代
11	熊 シウ ムウ 志宇	女	中国	東北大学	分子化学生物学	博士	2年	古川東	佐藤 真紀

米山奨学生を例会に招待し、卓話を依頼しませんか。依頼については、世話クラブへご相談ください。

米山奨学生の世話クラブには、奨学生1人につき年間6万円の補助金が米山本部から送金されます。(2027学年度から世話クラブへの補助金は9万円に増額されます。)

ロータリー米山記念奨学事業の詳細については、「豆辞典」をご確認ください。豆辞典は、本部からクラブへ配布されます。

特別月間によせて



地域社会の経済発展月間によせて

パストガバナー（2017-2018）

藤崎 三郎助（仙台RC）

10月は「地域社会の経済発展月間」です。経済発展という言葉からは企業活動や雇用創出を思い浮かべる方も多いかもしれません。しかし、ロータリーが目指す地域社会の経済発展とは、人と人とのつながりを育み、地域で挑戦する人を応援し、未来を担う人材を育てることで、地域全体の活力を高めていくことにあります。

人口減少や少子高齢化、地域コミュニティの変化など、私たち2520地区を取り巻く環境は決して容易ではありません。しかし、そのような時代だからこそ、ロータリーの存在意義がより一層問われています。私たち2520地区でも、各クラブが地域の学校での職業講話や、地元企業・自治体と連携した地域活性化事業、さらにはローターアクトやインターアクトを通じた若い世代の育成など多様な活動を展開しています。これらは一見すると奉仕活動ですが、その根底には「地域に人を育て、地域に活力を生み出す」という経済発展への大きな力があります。

私がガバナーを務めた際にも強く感じたのは、経済発展は決して経済指標だけで語れるものではないということです。先ほども申し上げた2520地区の多くの課題解決の糸口になるのは、挑戦する人を応援する風土、人材を育てる環境、世代を超えて支え合う絆が必要になることです。

私たちロータリークラブの奉仕活動は、一つひとつの活動は小さくても、その活動を積み重ねることで、地域の経済発展に大きく貢献していくと信じています。

本年度、2520地区は「共に歩み、未来に飛躍する」を地区運営方針に掲げ、柴田ガバナーの新たな歩みを進めています。この方針が示すように、地域社会が抱える課題は、一人や一つの組織だけで解決できるものではありません。だからこそ、ロータリーが培ってきた「つながり」と「行動力」が、これまで以上に求められていると感じています。

結びに、地域社会の未来は、一人の力ではなく、多くの人が志を共有し、共に歩むことで切り拓かれます。各クラブがそれぞれの地域で培ってきた奉仕の力を信じ、未来への一步を着実に積み重ねられることを心より願っております。

持続可能な
インパクトを
生み出そう



2026-2027年度 ガバナー公式訪問 報告

第8分區 岩沼ロータリークラブ

訪問日/ 8月4日🌞

■会場: ホテル桃幸 ■同行者: 金子隆史 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



例会に先立ち、日本三稲荷の竹駒神社にて正式参拝を行いました。

会長幹事会では、活動報告書をご覧いただきました。また、7月に鹿児島県の加治木 RC と実施した、高校生を主体とする「青少年国際交流防災プログラム」についても高い関心を持っていただき、防災意識を繋げていくことは「持続可能なインパクト」につながる活動との評価をいただきました。

例会では、柴田ガバナーより RI 会長メッセージ、4つの重点項目、地区活動計画について、

分かりやすく楽しくご説明いただき、全員が「第2520地区丸」に乗船した気持ちとなりました。特に、退会防止につながる「こころのコップ」のお話は大変参考になりました。今回の公式訪問は、今後のクラブ運営や活動につながる大変有意義な機会となりました。(報告者: 太田大輔/岩沼 RC 幹事)

第7分區 仙台奥羽ロータリークラブ

訪問日/ 8月4日🌞

■会場: 医療法人総志会 タウンホール ■同行者: 岩淵雄司 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



- ・ RI 会長のテーマ「持続可能なインパクトを生み出そう (Create Lasting Impact)」を地区の最優先事項として掲げ、ポリオ根絶、世界の平和推進、会員増強、インパクトのある奉仕活動の4点を重点事項として推進している

- ・ 感謝の言葉「ありがとう」を増やし、小さな変化に気づき、会員が「自分が必要とされている」と感じられる居場所作りが重要である

- ・ 6年継続している「漆プロジェクト」を、地域と人の心に残り続ける持続可能なインパクトの好例として評価していただくため、継続していく。

・ 多様で独創的な取り組みを評価していただいたため、今後も楽しみながら継続できる取り組みを行なっていく。
(報告者: 高橋 広/仙台奥羽 RC 会長)

第6分區 塩釜東ロータリークラブ

訪問日/ 8月5日🌞

■会場: 塩釜東 RC 例会場 ■同行者: 佐々木正樹 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



塩釜東ロータリークラブの活動方針、今年度の目標についてはガバナーより持続可能なインパクトを残す活動はすでに行われていると、評価いただきました。ガバナーからは特に退会防止とクラブ活性化が重要と強調されました。

柴田ガバナーの優しいお人柄と原田代表幹事の献身的なサポートが感じられた公式訪問でした。

(報告者: 内海仁一/塩釜東 RC 幹事)

2026-2027年度 ガバナー公式訪問 報告

第2分区 北上・北上西・北上和賀ロータリークラブ

訪問日／8月18日🔥

会場：ブランニュー北上 同行者：高橋敏彦 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



北上RC

2520 地区ガバナーは公式訪問にて、国際協議会での経験を通じた国際的視野の重要性を強調しました。RI 会長メッセージ「持続可能なインパクトを創る」を目的地とする「船」の比喻を用い、東日本大震災や大船渡大規模山林火災に対する支援の恩返しとしての令和8年熊本地震に対する支援のほか、自身の職業を紹介。活動指針として会員増強、My Rotary 登録、公共イメージ向上を掲げ、退会防止には「感謝」と「相談しやすい環境」が不可欠であると説きました。また、ロータリーの活動を積極的に発信する必要性を強調。最後に、自作の「ロータリーの歌」を披露し、国際大会への参加推奨と会員交流、活動の発展への期待を述べて締めくくりました。

(報告者：高橋宏治／北上和賀 RC 幹事)



北上西RC



北上和賀RC

第7分区 仙台北ロータリークラブ

訪問日／8月19日🌧️

会場：江陽グランドホテル 同行者：岩渕雄司 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



みならず、既存の会員一人ひとりを大事にしていきたい想いが伝わってきました。

(報告者：新本起也／仙台北 RC 幹事)

柴田ガバナーは、地域やロータリーの運営を前向きにしていくにはどのようにしたらよいかをしっかりと考えていることは勿論、とても、温かい人柄だということが伝わってきました。またロータリー国際協議会でも、日本人同士で固まることなく多くの方とコミュニケーションを取ろうとする姿勢は、模範になるものだと思います。

例会の中で、特に印象に残ったのは、「ストレスのコップ」の話です。メンバーの中でも、仕事などでストレスを抱えて生活をしている方がいる中で、コップから水が溢れないようにしたいとの話をされていましたが、退会を防ぐことは勿論、会員拡大の

第7分区 仙台東ロータリークラブ

訪問日/ 8月24日(月)

■会場: ホテルメトロポリタン仙台 ■同行者: 岩渕雄司 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



ましよう、具体的なプロジェクトの例を示していただきながら、ご説明いただきました。
(報告者: 亀井淳一/仙台東 RC 幹事)

- ・会長幹事会: 亀井幹事からクラブの概要報告を、佐々木会長より本年度重点方針「親睦の充実」「会員増強」等々を説明し、その後、柴田ガバナーより、2520地区を一つの船に例え、指導をしていくのではなく、ともに航海を歩んでいく「船長」としての役割との考え方を説明いただきました。
- ・例会: ガバナーより、オンライン RI 会長の本年度重点項目、「ポリオ根絶」「平和推進」「会員増強」等の説明と、航海としての目的地である「持続可能なインパクトを生み出そう」の達成についてお話がありました。そして、RI 会長のメッセージを地区の未来へつなげていくために、ともに語りともに学び考え

第1分区 二戸ロータリークラブ

訪問日/ 8月25日(火)

■会場: 二戸パークホテル ■同行者: 中田勇司 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



柴田ガバナーと原田代表幹事がお二人で「楽しもう」と様々な活動してることに感銘を受けました。自分も幹事の職に就いて職務に追われロータリー活動を楽しめてない事に気づかされました。今後、自分も含めた二戸ロータリークラブのメンバーに「楽しむ」ことを広めて行きたいと思っております。ありがとうございました。
(報告者: 田家 亘/二戸 RC 幹事)

第7分区 仙台西ロータリークラブ

訪問日/ 8月28日(金)

■会場: ウェスティンホテル仙台 ■同行者: 岩渕雄司 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



極的な地区補助金の活用が重要であるとアドバイスを頂き、最後に来年の地区大会では、各クラブ自慢の動画を集め披露する計画をお話されました。ご多忙の中、公式訪問を頂き感謝申し上げます。(報告者: 庄司充宏/仙台西 RC 会長)

会長幹事懇談会では、東日本大震災の際、第2720地区(熊本・大分)より総額1,600万を超える義援金を頂いたこと、10年前の熊本地震の際は義援金を送ってなかったことを踏まえ、災害準備金より200万を義援金として贈ること、仙台西クラブも義援金の協力をお願いしたい旨お話されました。また、当クラブの目標や奉仕活動等についてご理解を頂きました。例会では RI 会長の重点事項やガバナーの方針について具体的にお話をされました。特に、年次基金150ドル/人、PHS地区10名、ポリオ根絶に30ドル/人、PPS地区100名増、会員増強、退会防止を図ること。奉仕活動での感動体験等によりロータリー活動の良さを実感し公共イメージ向上に繋げる、そのためには積

2026-2027年度 ガバナー公式訪問 報告

第2分區 花巻・花巻南・花巻北ロータリークラブ

訪問日／9月2日㊦

■会場：ホテルグランシェール花巻 ■同行者：高橋敏彦 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事 佐藤百合子 地区幹事



多くの参加者が交流を深め、今後のより良い事業の構築やクラブ運営の発展に繋がる時間となりました。

(報告者：遠藤敦士／花巻 RC 幹事)

今回のガバナー公式訪問は花巻南 RC、花巻北 RC、花巻 RC の3ロータリー合同で行われました。会長幹事会では各クラブの活動計画について適切にご指導いただきました。各事業に共感していただき、これまでの継続事業の価値や素晴らしさを伝える時間になりました。例会には3クラブ合わせて50名が参加し、今年度の国際ロータリーが目指す目標やガバナー自身の経験から学んだことを踏まえて講評していただきました。会長幹事会、例会、懇親会と長丁場ではありましたが、柴田ガバナー、高橋ガバナー補佐、原田代表幹事、佐藤地区幹事と、

第8分區 亘理ロータリークラブ

訪問日／9月3日㊦

■会場：中正旅館 ■同行者：金子隆史 ガバナー補佐 同行者 牛澤一也 原田誠章 代表幹事



い雰囲気で大いに懇親を深めることができました。ガバナーにはご多忙の中ご訪問いただき感謝申し上げます。

(報告者：刈谷文俊／亘理 RC 幹事)

会長幹事会では、クラブの奉仕活動や亘理高校 I A との活動を報告し、ガバナーから奉仕活動や I A との関わり方、家族会員等意見交換を行いました。また、熊本地震の義援金・支援等についてもお話しされました。亘理 RC が次年度に創立 60 周年を迎えるにあたり、記念事業について、将来を見据えた子供達のためになる持続可能な支援について助言をいただき参考になりました。例会では各委員長から今年度の活動方針を発表し、ガバナーからは映像を交えた R I 会長のメッセージの内容や運営方針、ポリオプラス、退会防止等についてご講話をいただき、会員一同、今後のロータリー活動へ生かしていく良い機会となりました。懇親会では、終始和やかな楽し

第7分區 仙台レインボーロータリークラブ

訪問日／9月4日㊦

■会場：ANAホリデイ・イン仙台 ■同行者：夏目雅貴 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



対する奉仕活動にも積極的に取り組んでまいります。今回、柴田茂ガバナーよりいただいたご指導を今後のクラブ運営に活かし、より魅力あるクラブを目指して活動してまいります。(報告者：阿久津風樹／仙台レインボー RC 幹事)

柴田茂ガバナーをお迎えし、例会ならびに懇談会を通じて、貴重なご指導とお話をいただきました。ロータリークラブを取り巻く環境や地区としての今後の方針についてお話しいただき、改めてクラブとしての役割や、会員一人ひとりがロータリアンとして活動する意義を考える機会となりました。仙台レインボーロータリークラブとしても、会員同士の交流を大切にしながら、他クラブとの連携や会員増強、地域に



地区ロータリー財団セミナー・ 補助金管理セミナー 開催報告

ロータリー財団委員会

委員長 伊藤 智仁（花巻南RC）

8月23日キオクシアアイーナ（盛岡市）において開催したセミナーは、加藤雄彦 PG の「上手な財団との付き合い方」の講話を頂いた後、補助金管理、ポリオプラス、平和フェローシップ・学友、ロータリーカード推進の各委員会と森川昭正 PG による大口寄付の現状について報告いただきました。

そして、昼食後、補助金申請の必須要件であるセミナーを My Rotary のプログラムを活用して実施しました。

さて、今回のセミナーでのポイントはグローバル補助金に対する思考転換です。グローバル補助金というと海外での事業を連想してしまいがちですが、本来は多国間による協力事業を指し、実施場所は海外でも日本でも構いません。現在、当地区でも実施国の塩釜 RC と 3640 地区（援助国：韓国）が協力し、塩釜・松島海岸のアマモ再生事業（総額 54,600 ドルのプロジェクト）に取り組んでいます。因みに、海外クラブとの姉妹・友好提携はこうした際に力を発揮します。



ロータリー財団フォーラムに出席して

角田ロータリークラブ

財団委員長 本多 正久

2026 年 8 月 21 日、東京のニッショーホールで開催された、ジェニファー・ジョーンズ 2026-27 年度ロータリー財団管理委員長のロータリー財団フォーラムに出席してきました。

ジョーンズ氏は 2022-23 年度国際ロータリー会長を務めた際、「イマジン・ロータリー」をテーマに、1. ポリオのない世界を想像すること、2. みんなが安全な水を使える世界を想像すること、3. 戦争のない平和な世界を想像すること、4. 想像することからすべては始まること、を目指して活動されました。

今回、ジョーンズ氏はロータリー財団を率いて、上記 1～4 を実行に移されました。現在、野生型ポリオが残存している地域はパキスタン、アフガニスタンだけとなりましたが、毎年 30～40 人の子供がポリオに感染しており、これを根絶するために、毎年地域の子供たち全員にポリオワクチンを投与し続けるための膨大な仕事をロータリーが成し遂げて、あと一息まで来ましたが、しかし手を抜けば、ポリオはあっという間に蔓延してしまいます。それを防ぐため、ロータリーは世界中のロータリー会員の善意による寄付を必要としています。

そこで、今年度、ジェニファー・ジョーンズ ジャパン賞を設定し、クラブ賞として、寄付総額が前年度比 30% 以上増加し、年次基金一人当たり寄付 150 ドル以上のクラブに賞状を贈呈、会員賞として、一括 1 万ドル以上の寄付者と遺贈誓約者に感謝状を贈呈するとのことです。



「夏とこども+ファミリー写真展」にて スーパーボールすくいを開催！

塩釜東ロータリークラブ

会報広報委員長 吉木 由美

2026年9月13日（日）、塩釜東ロータリークラブでは青少年奉仕・社会奉仕・職業奉仕委員会の主催により、「夏とこども+ファミリー写真展」の会場であるサイトスタジオ エントランスにて、ご来場者向け「スーパーボールすくい」イベントを開催いたしました。本事業は、写真展にいらしたお子さまやご家族連れの皆様に楽しい体験を提供するとともに、地域社会との交流を深め、当クラブの奉仕活動に対するご理解と親しみをを持っていただくことを目的に実施したものです。



塩釜東 RC 会員

会場内ではポリオ根絶運動のポスター掲示やクラブ案内

パンフレットの配布を行ったほか、柴田茂ガバナーよりご提供いただいたロータリーソング「♪ひかりになるために」と「♪ともに未来へ」をBGMとして流し、当クラブの理念や活動を広くアピールいたしました。

当クラブは今後も地域に根ざした奉仕活動を通じ、子どもたちの笑顔と地域の未来を応援してまいります。



スーパーボールすくい

2026-2027年度行事予定表(10・11月) 10月は「社会の経済発展月間」、「米山月間」です

日 程		行 事	場 所	
10月	3日(土)	第8分区 I M (白石 RC)	福島	伊達市商工会 梁川本所
	4日(日)	第15回危機管理委員長会議	東京	AP 八重洲 & zoom
	5日(月)	第1回地区行動計画推進セミナー・クラブサポートミーティング		オンライン
	17日(土)	岩沼 RC 創立 60 周年記念式典	宮城	竹駒神社 参集殿
	17日(土)	青少年交換派遣生(長期・短期)選考試験	宮城	仙台育英学園高校宮城野校舎
	18日(日)	米山奨学生研修旅行	岩手	えさし藤原の郷
	21日(水)	第一地域第2回公共イメージ向上セミナー		オンライン
	24日(土)	花巻南 RC 創立 60 周年記念式典	岩手	ホテルグランシェール花巻
	24日(土)	世界ポリオデー		
	26日(月)	日韓親善会議	兵庫	神戸ポートピアホテル
11月	7日(土)	RLI 研修パートⅡ	宮城	斎苑
	8日(日)	米山奨学生・学友 フルーツ狩り	宮城	フルーツパークあらはま
	14日(土)	第3分区 I M (一関 RC)	岩手	ホテルの松の薫一関
	15日(日)	第4分区 I M (宮古 RC)	岩手	浄土ヶ浜パークホテル
	14日(土)-15日(日)	第15回日本ロータリー学友会総会静岡大会	静岡	浮月楼(静岡市)
	22日(日)	第1分区 I M (久慈 RC)	岩手	久慈グランドホテル
	23日(月・祝)	青少年交換第1回オリエンテーション	宮城	仙台育英学園高校宮城野校舎
	23日(月・祝)	諮問委員会、現・次期ガバナー補佐会議 加藤年度地区資金収支決算報告会、 クラブ活性化セミナー、早坂ガバナーエレクト杜行会	宮城	アインパルラ浦島

新入会員紹介

 花巻南 RC 小田島 祐介 2026.9.1 入会 損害保険	 花巻北 RC 藤森 康之 2026.8.1 入会 建設業	 北上和賀 RC 成瀬 義治 2026.9.2 入会 土木建築	 奥州水沢東 RC 島貫 健次 2026.7.1 入会 総合設備業	 奥州水沢東 RC 熊谷 幸也 2026.7.1 入会 建設業	 釜石 RC 谷澤 栄一 2026.8.25 入会 不動産業
 岩出山 RC 高橋 雅博 2026.8.24 入会 地方自治	 仙台 RC 藤橋 芳弘 2026.8.25 入会 鉄道電気設備系	 仙台 RC 椎橋 壽太郎 2026.8.25 入会 航空運輸	 仙台青葉 RC 齋藤 貴昭 2026.8.19 入会 電機工事	 仙台北 RC 萩原 淳 2026.8.5 入会 証券業	 仙台北 RC 原田 英典 2026.8.19 入会 総合商社
 仙台北 RC 今野 繁 2026.8.19 入会 総合建設業 - 中央	 仙台北 RC 竹中 康博 2026.8.19 入会 総合建設業 - 中央	 仙台東 RC 久保田 聖悟 2026.8.5 入会 ビール製造業	 名取 RC 菅原 健 2026.8.17 入会 弁護士	 柴田 RC 鳴海 智江 2026.7.1 入会 飲食業	 仙台北 RC 石井 かほる子 2026.7.1 入会 保険業

【訂正】

9月号で紹介した
新入会員の顔写真
が逆になっており
ましたので、訂正
して再掲載いたし
ます



北上 RC
永田 浩規
2026.7.7 入会
電気事業



北上 RC
小田嶋 栄司
2026.7.14 入会
電気総合設備工事

寄付報告(7・8月)

■ロータリー財団

2026年7月認証

9月号に掲載できなかった方、間違って掲載された方がいらっしゃいましたので改めて掲載いたします

寄付分類	所属クラブ	氏 名
メジャードナー (L2)	奥州水沢東 RC	岩 淵 真幸人
ベネファクター	奥州水沢東 RC	岩 淵 真幸人
マルチプル・ ポール・ハリス・ フェロー	盛岡 RC	荒 川 鉄 平
	北上 RC	室 岡 雅 子
	一関中央 RC	小野寺 勘 治
	仙台南 RC	石 井 岳 朗
	仙台南 RC	大 江 広 満
ポール・ハリス・フェロー	石巻東 RC	國 分 則 章
	石巻東 RC	武 山 孝 好

2026年8月認証

寄付分類	所属クラブ	氏 名
マルチプル・ ポール・ハリス・ フェロー	仙台 RC	草 刈 修 司
	仙台南 RC	佐々木 利 晃
	仙台南 RC	武 田 文 孝
	仙山西 RC	庄 子 裕 介
	亘理 RC	早 坂 正 実
ポールハリス・フェロー	仙台北 RC	江 馬 文 成
	名取 RC	片 平 浩 和

退会会員報告

クラブ	氏 名	職業分類	退会日
盛岡 RC	吉 田 幸 一	印刷	2026/7/31

■ロータリー米山記念奨学会

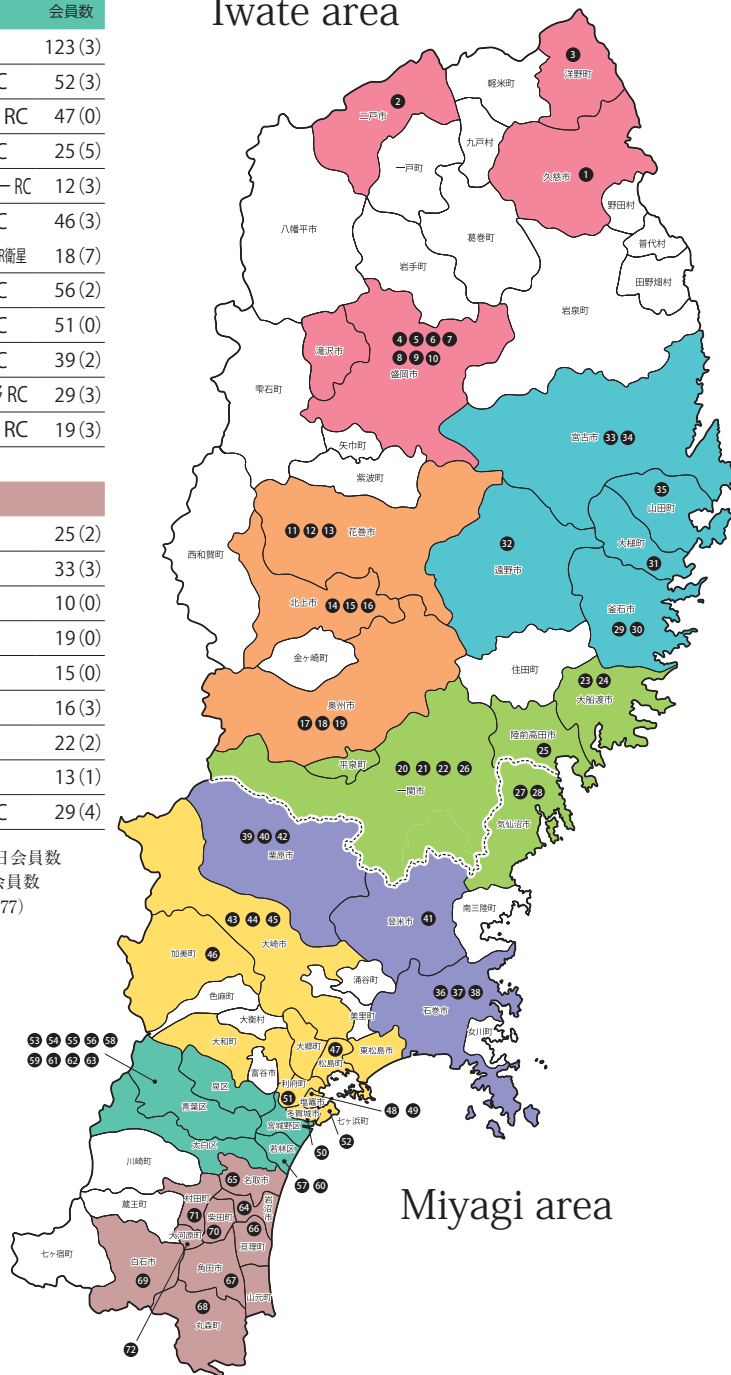
2026年8月認証

寄付分類	所属クラブ	氏 名
米山功労者メジャードナー	北上 RC	高橋 信一
	仙台泉 RC	菅原 裕典
米山功労者マルチプル	盛岡西北 RC	田中 広江
米山功労者	石巻東 RC	浅野 辰之
米山功労クラブ	石巻東ロータリークラブ	
	北上ロータリークラブ	

第一分区	会員数	第四分区	会員数	第七分区	会員数
1 久慈 RC	24 (1)	29 釜石 RC	22 (2)	53 仙台 RC	123 (3)
2 二戸 RC	49 (7)	30 釜石東 RC	28 (3)	54 仙台泉 RC	52 (3)
3 種市 RC	17 (0)	31 大槌 RC	6 (0)	55 仙台青葉 RC	47 (0)
4 盛岡 RC	72 (3)	32 遠野 RC	8 (2)	56 仙台冠 RC	25 (5)
5 盛岡北 RC	39 (3)	33 宮古 RC	28 (3)	57 仙台レインボー RC	12 (3)
6 盛岡西 RC	21 (1)	34 宮古東 RC	18 (1)	58 仙台南 RC	46 (3)
7 盛岡南 RC	46 (3)	35 山田 RC	19 (1)	仙台南・白石R衛星	18 (7)
8 盛岡東 RC	27 (3)			59 仙台北 RC	56 (2)
9 盛岡中央 RC	27 (3)	第五分区		60 仙台東 RC	51 (0)
10 盛岡西北 RC	42 (6)	36 石巻東 RC	39 (0)	61 仙台西 RC	39 (2)
		37 石巻西 RC	30 (3)	62 仙台宮城野 RC	29 (3)
		38 石巻南 RC	17 (1)	63 仙台奥羽 RC	19 (3)
		39 栗駒 RC	13 (1)		
		40 築館 RC	18 (2)	第八分区	
		41 佐沼 RC	55 (7)	64 岩沼 RC	25 (2)
		42 若柳 RC	24 (7)	65 名取 RC	33 (3)
				66 亘理 RC	10 (0)
		第六分区		67 角田 RC	19 (0)
		43 古川 RC	38 (2)	68 丸森 RC	15 (0)
		44 古川東 RC	40 (1)	69 白石 RC	16 (3)
		45 岩出山 RC	12 (1)	70 柴田 RC	22 (2)
		46 加美 RC	22 (1)	71 村田 RC	13 (1)
		47 松島 RC	8 (3)	72 大河原 RC	29 (4)
		48 塩釜 RC	25 (1)		
		49 塩釜東 RC	11 (1)		
		50 多賀城 RC	21 (4)		
		多賀城1300R衛星	23 (6)		
		51 利府 RC	6 (0)		
		52 ケー浜 RC	13 (1)		

2026年8月31日会員数
() 内は女性会員数
合計2,008名 (177)

Iwate area



Miyagi area

表紙写真を提供してくれたクラブの紹介です。

せんだいみなみ

仙台南ロータリークラブ

仙台南ロータリークラブは2026-2027年度に創立70周年を迎えます。毎週木曜日、ウェスティンホテル仙台で例会を開き、親睦と奉仕を大切にするクラブです。1963年締結の藤沢ロータリークラブに続き、広島東南ロータリークラブと姉妹クラブ関係を結び、ピアノ寄贈から始まった交流は、荒浜での被爆樹木植樹と本記念碑の建立へと発展しました。碑と樹木の管理、海岸清掃、U-12女子サッカー大会、宮城県立視覚支援学校への支援など、地域に根ざした継続事業に取り組んでいます。(仙台南 RC 幹事 半澤 修司)

写真の説明

仙台市若林区荒浜、震災遺構・荒浜小学校近くに立つ「復興と友情」の碑。2021-2022年度地区大会記念事業として、広島東南ロータリークラブのご協力で被爆樹木を植樹した場所です。毎年、会員と家族が草刈りと清掃を行い、植樹地の環境整備を続けています。ポリオ根絶を呼びかける「END POLIO NOW」のTシャツを着用し、移動例会として取り組んでいる様子です。

編集後記

今月号では、ガバナー公式訪問の報告をはじめ、米山月間・地域社会の経済発展月間に関する寄稿、ロータリー財団や各クラブの活動など、多彩な内容をお届けしました。各記事を通して感じるのは、地域への奉仕、人材育成、そして未来への想いが確実に受け継がれているということです。また同時に各取り組みに於いての課題にも触れられています。米山記念奨学会事業への寄付金は当地区が全国平均と比較して遅れをとっている事が本稿で触れられています。会員の皆さまの日頃のご協力とご尽力に感謝申し上げますとともに、今回の気づきをもって今後の活動へのご協力を改めてお願いする次第でございます。引き続き、月信へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(月信担当幹事 佐藤 賢司)